

# 世界や日本のできごとを調べる

## 参考図書 (reference book) とは

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典・辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。



## 『20 世紀年表：The chronicle of 20 th century』

毎日新聞社 1997 年

20 世紀がどうだったのかを知るために最適の 1 冊といえます。

政治、経済、事件など 1900—1996 年までの詳細な年表が掲載されています。また、TV やラジオ、映画、流行語やベストセラーの記事もあり、その時の風俗などもよくわかるようになっています。冒頭にあるカラー写真の蓄音機、カメラ、自動車、公衆電話機などの一覧は技術開発の歴史を見ることができます。本文下段に並べられた写真は、その年、時代を象徴するものがセレクトされています。

また、巻末の索引が充実しています。

## 『10 大ニュースに見る戦後 50 年』

読売新聞社 1996 年

年末の 10 大ニュースは、その年を表す象徴です。昭和 22 年 (1947) から平成 7 年 (1995) まで、各年のランキングを 20 位まで収録しています。また、10 位までには解説文がついています。はやった歌、人気の本、流行語なども掲載しています。

## 『完全版 昭和・平成史年表』

平凡社 2019 年

『昭和・平成史年表』(1997)、『新訂版 昭和・平成史年表』(2008) を経て、本書が刊行されました。

各年を政治・経済・国際・文化・社会・世相と 6 つに分けて掲載した年表です。昭和元年 (1926) から平成 31 年 (2019) まで、1 年ごとに見開き 2 ページで構成されています。

世相は短文により解説しています。平成 7 年の世相として「阪神・淡路大震災での心の病が増加」「くら抜き言葉>は認めない」などがあげられています。

索引項目数約 2 万で、事項索引と人名索引にわけられています。

## 『20世紀年表』で調べてみました！

問① 日本の第一回国勢調査が行われたのはいつ？結果は？

答 「大正9年(1920)10月1日  
内地人口 5596万3053人  
外地人口 2102万5326人  
東京市 369万9428人  
大阪市 258万7847人」

大正14年(1925)の第2回国勢調査では、初の失業統計調査も実施されました。

失業者 10万5595人

国勢調査説明のため巡回する宣伝自動車の写真もあります。 (索引【国勢調査】から)

問② 第1回冬季オリンピックはいつ、どこで行われたの？

答 大正13年(1924)1月25日~2月4日にフランスのシャモニーで行われました。同じ年の夏には、第8回オリンピックがパリで行われています。

(索引【冬季オリンピック】から)

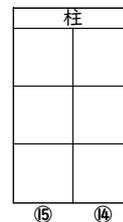
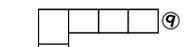
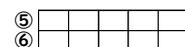
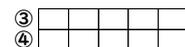
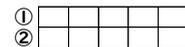
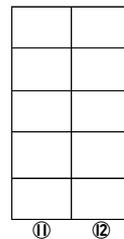
### 調べてみよう！

- \* ルービックキューブが大流行したのはいつ頃？
- \* 日本では消費税っていつから導入されたの？
- \* 昭和39年(1964)の前にも東京オリンピックが開かれる予定だったの？
- \* 国会で「バカヤロー」と叫んだ首相がいたってホント？で、それからどうなったの？

まずは、紹介されている参考図書を調べてみましょう！

上記の参考図書はこちら→

中央図書館3階



15 14

10

図書館の本は、本の背に内容がわかるよう分類ラベルが貼ってあります。

世界史のことは【2097】、日本の昭和史は【217】を探してみてください。



カウンター

わからないことがあれば、何でもお気軽に図書館員におたずねください。